

大阪公立大学 第5回全固体電池研究セミナー

電池製造プロセスに関するワークショップの共催行事をご案内致します。

『大阪公立大学 第5回全固体電池研究セミナー』を、下記の通り開催します。
皆様のご参加をお待ちしております。

.....

大阪公立大学 第5回全固体電池研究セミナー

『固固ヘテロ界面形成に向けた低温プロセスの開発』

講師 松井 雅樹 教授 (北海道大学)

酸化物型全固体電池において、正極・固体電解質界面には高温での共焼成プロセスが必要である。

一方、高温プロセスでは正極活物質、固体電解質双方の構成元素が相互に拡散し、イオン導電性の低い新たな反応層が形成されることが課題とされている。

この反応層形成を抑制する手段の一つとして、正極活物質もしくは固体電解質のいずれかを、低温で結晶成長させるプロセスが考えられる。

我々の研究グループでは、通常 850 °C 程度の高温焼成によって合成される層状 LiCoO₂ を 300 °C 以下の低温かつ短時間で得ることができる「ハイドロフラックス法」を開発した。

本講演ではハイドロフラックス法の反応機構や、固固ヘテロ界面形成への適用検討の結果を紹介する。

(日時) 2024 年 5 月 17 日(金) 15:00~16:30

(会場) 大阪公立大学 中百舌鳥キャンパス A12 棟

※zoom を利用したハイブリッド開催

(主催) 大阪公立大学全固体電池研究所

(共催) 粉体工学会電池製造プロセスに関するワークショップ

(参加費) 無料

(参加申込締切) 2024 年 5 月 16 日(木)

【参加申込】 以下よりお申し込みください。

・ forms リンク <https://forms.gle/q5eVJJ6BSeBWhJ5w5>